

# あそびっくす通信

あそびっくす通信 2012-1号(15号)  
発行：2012年9月4日  
あそびっくす in 東小実行委員会  
名張市桔梗が丘 7-1-86  
名張市立桔梗が丘東小学校内  
編集・発行責任：坂本直司

## ■ 通学路花いっぱいいっぱい運動



地域の皆さん、水やり管理ありがとうございます(9月2日撮影)

6月23日(土)、東小学校中庭にて例年通り地域の皆さんに花の苗を無料配布しました。「通学路で、花に水をやりながら子どもたちを見守ってください」という趣旨説明のあと、マリーゴールド、サルビアなどの苗約4,000株を配布。7基の通学路プランター、花壇の植替えも行いました。当日頂いた寄付金は18,606円。また、PTAバザーへの寄贈品も多く寄せられました。地域の皆さん、ありがとうございました。

この日に備えるため、5月27日に実行委員が、池の台から参加頂いたボランティアの岡田さん、西さんと一緒にポットに植替え、その後1か月間は、先生方と児童の皆さんが毎日水をやって育ててくれました。



植替え作業(5月27日)

苗を選ぶ皆さん(6月23日)



副委員長(8-2 武仲区長)からの趣旨説明

## ■ ビニール傘でつくる光る星座表

1学期の週末課外授業は、7月7日(土)体育館にて児童28名、保護者5名の参加を得て「ビニール傘でつくる光る星座表」を開催しました。

金環食や金星の太陽面通過など、宇宙に関する話題の多い今年、七夕の日によってつけの企画になりました。

まず、プラネタリウムを鑑賞し、夏の大三角形や主な一等星、星座にまつわる神話などの説明を聞きました。その後は、作り方の説明を聞いた後、各自で星座表の製作を開始。子どもたちは熱心に星座表をビニール傘に描き写し、蓄光シールを貼り付けていきました。どうも子どもたちのほうが、大人たちよりも大胆に作業を進めているようでした。



## ● 五感で覚える

完成後、体育館を暗くして星座の形をしたシールが光るのを皆で確認しました。この時、蓄光シールで出来た星々が暗闇に浮かび上がると、あちこちから歓声があがりました。最後に、今日勉強した「夏の大三角形」の星の名前を子どもたちに聞いたところ、大きな声で「デネブ、ベガ、アルタイル」としっかり覚えていました。



これは、あそびっくす in 東小が大切にしている「五感を使った学び」の成果で、プラネタリウムを「目」で見て、「耳」で聴いて、「手」で書いてシールを貼り、最後に「声」に出して言うことで記憶に定着したのだと思います。

## ● 午後10時の奇跡

その夜のこと、子どもたちが作った星座表は7月7日午後8時の視野でしたので、その時間に空を見上げましたが、残念ながら一面曇り空でした。

しかし、午後10時にもう一度外に出て驚きました。雲ひとつない快晴で、今日覚えた夏の大三角形をはっきり確認することが出来ました。天気予報では雨または曇りでしたから、まさに梅雨の晴れ間の奇跡でした。これで、今年も織姫と彦星は無事に再会出来たことでしょう。

## ● 約束を守った子どもたち

子どもたちが作業している間、少しだけ体育館の外に出てみました。そこで目にしたものは、全員が脱いだ靴を靴箱にきちんと入れていたことでした。

さらに今回の課外授業中は、私の話を静かにしっかり聞いてくれたこと、最後の掃除をしっかりとやれたこと、始めと終わりのあいさつをしっかりとやれたことが印象的でした。

この四つのことは、週末課外授業をやり始めた平成16年から毎回模造紙に書いて貼り出して言い続けてきたことでした。今まで体育館で行事をやるときには、入口付近に靴が乱雑に脱ぎ捨てられ、いつも注意をしてきたのが嘘のようでした。

もう、この模造紙を貼り出すことはないでしょう。

このことで、先日行われた学校評議員会で先生からご紹介いただいた「学校生活の約束」の中に「体育館に入るときには体育館前で上靴をはきかえ、棚の中に入れる。」と記されていることを児童のみんながしっかりと守れていることが分かりました。

子どもたちを褒めてあげましょう。

「地域で子どもたちを育てる」ということは、「地域で子どもたちを褒める」ことも大切だと感じました。



右は保護者の見事な作品

## ■ 夏休み恒例サマーキャンプ

子ども会から引き継いで、あそびっくす in 東小として取り組んできたサマーキャンプですが、もう7回目となりました。

8月11日(土)に開催したキャンプには児童39名、保護者12名が参加しました。



### ● 地域のおじさんパワー全開



今年も地域のおじさんパワー全開でした。途中から降ってきた雨のためカレー作りは家庭科室に変更したのですが、わずかに止んだ合間を縫って火を起こし、ご飯は無事飯ごうで炊くことが出来ました。これに奮闘してく

れたのが4番町の杉中さん、7番町の高田さん、8番町の山縣さん、池の台の森田さんといったボランティアの皆さんでした。あの臨機応変の対応は、私たち実行委員だけではとても出来ませんでした。

### ● 作戦会議の工夫

経験というのは、学習と一緒に「工夫」をもたらします。毎年やり続けたことで、基本を押さえたうえで作戦ボードの表記を工夫するチームが現れました。大人から見れば些細なことかもしれませんが、終わったこと、片付けたものを取り消し線で「消し込み」している班がありました。誰も教えていないのにこのようなアイデアが出るのは、「自ら考える」ことが出来ている証拠だと思います。



### ● ウドつかみって何?

今年はタ立というアクシデントがあったものの、予定より30分も早く片付けと掃除が終わってしまいました。保護者の皆さんのお迎えを待つ間、どうやって時間を持たせようかと気をもんでいました。雨のために出来なかった燻製以外に用意しているアトラクションは無く、仕方なく委員長坂本の小学生時代の夏休みの話をすることにしました。

本職の先生でもないのに果たして子どもたちがおとなしく聞いてくれるかとても不安でした。が、始めてみるとそれが杞憂であることがすぐに分かりました。ザリガニ釣りやウドつかみ(手で魚を捕まえること)、つけ針(ウナギやナマスの仕掛け釣り)の話に興味津々で、誰一人私語をすることなく30分間集中して聞いてくれました。



この日集まった39人への質問で、夏休みに外で遊んだ子はたった二人、キャンプに行ったことのある子も二人という現実、昭和四十年代に小学生時代を送った者からすると驚きを禁じ得ませんでした。しかし、遊びの話を食い入るように

聞く子どもたちの目を見て、いつの時代も子どもは好奇心の塊であることに違いはないと確信しました。今のこの現実をどう捉え、どう行動するかは大人たちに突きつけられた命題です。私たちは、これからも一生懸命その命題に取り組み、考え、そして行動していこうと思います。

### ● 雑巾がけは楽しい!?

今年はほとんど全員が雑巾を持参し、橋本区長の号令のもと、雑巾がけ競争を楽しんでいました。来た時よりもきれいにすることは、本当に気持ちのいいものです。



### ● 今回も靴はどろえられました

週末課外授業の時もそうでしたが、特に今年になって子どもたちは、脱いだ靴をきちんと揃えられるようになりました。「子は親のいうようにはしないが、親のようになる」と言われますが、親や先生がきちんと出来ている証だと思います。

### ● 「ありがとう」の話

「ありがとう」は「有り難い」のことで、めったに無いことに対して感謝の気持ちを表す言葉です。「有り難い」の反対は、いつも有ることで「当たり前」となります。当たり前と思えば誰も感謝しません。

お母さんがごはんを作ってくれるのを当たり前と思いませんか?お父さんお母さんが汗水流して働いてくれるのを当たり前と思いませんか?

今回のサマーキャンプで子どもたちを迎えに来てくれた保護者の皆さんは、全員「ありがとうございました」の言葉をかけて下さいました。その言葉がどれだけスタッフの私たちに元気を与えてくれることか。その一言で疲れも吹き飛んでしまいます。苦勞して準備した甲斐があったと実感するひと時です。

## ◆ 今後のあそびっくす in 東小予定

- 1) 2学期週末課外授業  
クリスマスキャンドル作りと、桔梗が丘の街路樹であるナンキンハゼの実から出来る和ろうそくのお話。  
日程は未定です。
- 2) あそびっくす in 東小 2012  
11月10日(土)、午前と午後の体験授業を中心に、PTAバザーと同時開催。
- 3) 3学期週末課外授業  
内容、日程ともに未定。



## ▼ 編集後記

- 1) 色々な事業に実行委員以外のボランティアの方々がお手伝いに来てくれるようになってきました。ありがたいことです。地域の皆さんが「地域で子どもたちを育てていこう」と真剣に考えて下さっている証拠だと思います。今後も引き続きよろしく願います。
- 2) あそびっくす in 東小のブログを立ち上げました。URLは、<http://asobixtukusu.blog.fc2.com/> ですが、「あそびっくす in 東小」で検索していただくとすぐに見つかります。ぜひアクセスしてみてください。
- 3) 来年度三重大会での発表に備えた下見を兼ねて、8月24日、日本PTA全国研究大会京都大会に出席してきました。サザエさんのマスオさんの声優で有名な増岡弘さんの基調講演があり、「言葉は相手へのプレゼント、一度口を出たら戻すことは出来ません。だから言葉は大切に。」というお話が印象的でした。